



内務省特報



◎地方長官會議に於ける阿部内閣

總理大臣訓示の要旨

阿部内閣の政綱政策を敷衍徹底し舉國的協力を求めるため招集された地方長官會議は十月二日午前八時三十分より首相官邸に開かれた劈頭阿部首相は、左の如き訓示を述べられた。

訓示の要旨

政府ハ曩ニ聲明ヲ發シテ現内閣ガ抱懷スル政綱ノ一斑ヲ宣明シタ。現内閣ハ現下ノ重大時局ニ處シ堅キ決意ヲ以テ其ノ具現ニ邁進セントスルモノデアル。聲明ノ冒頭ニ於テ「國體ノ本義ニ徹シ」ト述ベタノハ申ス迄モナク國體觀念ヲ

明徴ニシ、肇國以來一貫不變ノ我ガ傳統精神デアル皇運扶

翼ノ精神、私ヲ捨テテ公ニ奉ズルノ精神ヲ基礎トシテ内治外交萬般ノ施政ニ精進シテ以テ今日ノ時代ヲ指導シ發展セシムルコトガ國政ノ第一義デアルト確信スルカラデアル。

當ニ世ノ所謂自由主義個人主義萬能ノ思想カラ蟬脱シテ、中央地方ヲ通ジ、其ノ官タルト民タルトヲ問ハズ、政治行政モ國民各個ノ營ミモ齊シク此ノ大精神ニ歸一シテ、帝國一體タルノ實ヲ擧グベキデアル。現内閣ノ政綱ハ、即チ此ノ精神ヲ基本トシテ出發シタノデアアルガ、其ノ中ニ掲ゲタル當面ノ要務ノ二三ニ就イテ重ネテ諸君ノ理解ト協力トヲ求メタイト思フ。

一、現下ノ國際情勢ノ複雑微妙ナル、其ノ動向、歸趨遠カニ逆睹スベカラザルモノガアル。而シテ帝國ノ直面シテ居ル國際的諸問題モ亦複雑多變デアル。帝國トシテハ此ノ

間ニ處シ徒ラニ苟安ヲ事トセズ、將タ權略ニ流レズ、克ク帝國獨自ノ立場ニ立ツテ帝國ノ地位ヲ確保シ、主張ヲ堅持シ、會通ノ運ニ乘ジ更張ノ期ヲ啓クコトヲ期セネバナラス。シカモ帝國ノ今日當面セル最大ノ問題ハ實ニ支那事變ノ處理デアリ、東亞ニ於ケル新態勢ノ建設デアル。従ツテ政策ノ中核ヲコノ支那事變處理ニ置キ内外諸般ノ施策ガ此ノ目的ニ統合集中サレナケレバナラスト考ヘル。支那事變處理ノ根本方針ハ曩キニ決定セラレ、嚴トシテ動かカスベカラザルモノガ存スル。是ハ内閣ノ更迭ニ依ツテ變動スベキモノデナイ。稜威ノ下、皇軍不斷ノ進撃ト國際情勢ノ變動トニ依ツテ、最近抗日政府ノ實力ハ頓ニ減退シ、又新中央政府ガ新支那更生ニ協力スル同憂具眼ノ士ニ依ツテ近ク其ノ成立ヲ見ントシテ居ル。政府ハ此等ノ趨勢ニ鑑ミ、新中央政府ニ對シテハ進ンデ之ガ成立ヲ援ケ、之ト提携協力シテ事變處理ノ完遂ヲ圖ラントスルモノデアアル。其ノ他支那事變處理ノ爲ニハ適切機宜ノ一切ノ處置ヲ講ゼントスルモノデアアル。然シ乍ラ新中央政府ノ成立乃至抗日政權ノ衰退ヲ以テ、

事變ノ終結ト爲スガ如キコトガアツテハナラナイ。今日我々ニ課セラレタ使命ハ單ナル和平ノ回復デハナイ。日滿ノ一體性ト日支ノ新關係トガ實現サレ、依テ以テ東亞新秩序ノ建設成リ、東亞永遠ノ安定ガ確保セラルルコトコソ事變處理ノ最高目標デアアル。此ノ事タル、國際情勢ノ變轉如何ニ拘ラズ、毫モ動搖スベキモノデナイ。故ニ歐洲戰爭ノ勃發ニ際シテモ、之ニ介入スルコトナク、東亞ニ於ケル事態ノ改善ニ一途邁進セントスルモノナルコトヲ明カニシタノデアアル。尤モ歐洲戰爭ニ不介入デアリ、自主邁往デアアルイツテモ決ンテ徒ラニ孤立以テ自ラ尙クシ、國際的ニ拱手傍觀テ居ラウトスルモノデハナイ。苟モ帝國ノ立場ヲ理解シ東亞ニ於ケル事態ノ改善ニ協力ヲ吝マザル國ニ對シテハ、我が友邦トシテ共ニ東亞否延イテ世界ノ進運ニ協力スベク、又然ラザル國ニ對シテモアラユル機會ト努力トニ依リ之ヲ適正ニ導クベク、シカモ尙ホ惡意ヲ以テ我が誠意ヲ理解セザラントスル國ニ對シテハ斷乎タル決意ヲ以テ之ニ對處スル覺悟デアアル。

一、支那事變處理ノ爲ニ適切機宜ノ方策ヲ講ジ、又世界情勢ノ推移ニ對處シテ萬般ノ措置遺憾ナキヲ期センガ爲ニハ、外ニハ列國ノ動向ヲ注視シ東亞新秩序ノ建設ヲ妨グルコトナカラシムルト共ニ、内ニハ銳意軍備ノ充實ト基本國力ノ培養トニ精進セネバナラス、蓋シ現下國內各般ノ事ハ最早各部門各層ノ任意不統一ナル努力發展ニ委スルヲ得ザル實情ニ在リ、是ニ於テ益々綜合經濟力ノ擴充ヲ圖リソノ運用ヲ有效ニシ、國家總動員態制ヲ愈々整備強化シナケレバナラス。之ガ爲生産力擴充計畫ノ實行ノ促進、日滿支ヲ通ズル綜合計畫ノ確立ガ必要デアリ、先ヅ以テ此ノ新情勢ニ應ジテ貿易省ノ新設其ノ他貿易體制ノ強化整備ヲ急イデキル次第デアル。又國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシメル様相隨イデ國家總動員法ノ發動ヲ促シ、産業經濟ノ戰時態勢化ヲ圖ツテキル。殊ニ物價ノ暴騰ヲ防ギ思惑ノ跳梁ヲ抑フルコトハ時局下經濟政策ノ中心ヲナスモノト認メ、價格等ノ引上禁止ノ應急措置ヲ講ズルト共ニ適正價格等ニ依ル價格等ノ統制ヲ一層廣汎ニ且ツ急速ニ實施スルコトトシタノ

デアル。一方之ト共ニ今後ハ總テノ物資殊ニ生活必需品ニ就テモ努メテ消費ノ節約ガ圖ラレネバナラス。又アラユル無駄ヲ排除シテ物資ノ活用ヲ期スベキデアル。此等ハ全國民奉公ノ精神ノ發揚ニ依テノミ其ノ效果ノ完璧ヲ期待シ得ルノデアルガ、之ガ爲ニハ先ヅ以テ官吏自ラ國民ニ率先シテ之ヲ實踐ニ現シ、國民ガ如實ニ此趣旨ヲ理解スル様努力スベキデアル。殊ニ此際注意シ度キハ、或ハ各種態勢ノ整備強化ト言ヒ、經濟統制消費節約ト言ヒ、官憲ノ指導強度ヲ加フルニ從ヒ、往々ニシテ徒ラニ國民ニ壓迫感ヲ昂メ、國民ノ志氣ヲ萎靡セシメ、延イテ國運ノ進展ヲ阻ムノ虞ナシトシナイ。諸君ハ特ニ此點ニ留意シ各種法令ノ運用ヲ爲スニ當ツテハ、懇切鄭寧以テ其ノ趣旨ノ徹底ヲ圖リ、努メテ國民眞實ノ聲ニ聞キ國民ノ十分ナル理解ト徹底セル信頼トノ下ニ我ガ國戰時經濟ノ圓滑ナル運営ガ行ハルル様格別ノ御努力ガ願ヒタイ。事變勃發以來既ニ二ケ年ヲ過ギ、我が國民ノ獻ゲタ有形無形ノ犠牲ハ甚ニ大ナルモノガアル。之ヲ空シクセスシテ新東亞建設ノ礎石ヲラシメテコソ、大

陸ノ曠野ニ貴イ血汐ヲ流シタ英靈モ莞爾トシテ瞑シ得ルノ
デアル。ソレガ爲ニハ今ヤ益々國ノ全知全能全力ヲ動員シ、
社會的政治的態勢ヲコノ時局ニ即應シテ戰時化スベキデア
ル。愈々國民精神ヲ昂揚シ、益々強力日本ノ建設ニ向ツテ
邁進セネバナラス。

政綱政策ノ重ンズベキハ、其ノ文字ニ非ズシテ之ガ實行
ニ在ルコトハ言フ俟タヌ。政府ハ曩ニ聲明シタ政綱ノ實行
ニツイテ全力ヲ竭シ、以テ國民ノ期待ニ副フ覺悟デアル。

諸君ハ行政ノ第一線ニ於テ、常ニ親シク國民諸層ニ接セ
ラレ諸政策ノ實施、諸制度ノ運用ニ當ラルルガ故ニ、政府ノ
意ノ在ル處ヲ體シ、ヨク官民一體ノ實ヲ舉グルニ努ムルト
共ニ政府各部ト一層連絡ヲ密ニシ、各般ノ運営ニ完璧ヲ期
セラルル様懸命ノ御努力ヲ望ム次第デアル。

◎小原内務大臣訓示要旨

今般圖ラズモ内務大臣ノ大命ヲ拜シ、時局多端ノ秋、責
任ノ極メテ重大ナルコトヲ痛感シ、衷心恐懼ニ堪ヘナイ次

第デアリマス。私ハ茲ニ各位ノ會同ヲ煩ハセル機會ニ於キ
マシテ謹ミテ 皇室ノ御恩澤ニ付一言申シ上ゲ私共ノ覺悟
ヲ新ニ致シ度イト存ジマス。

畏クモ 聖上陛下ニ於カセラレマシテハ玉體彌々御健カ
ニ涉ラセラレ、天機殊ノ外麗ハシク拜シ奉リマスコトハ九
千萬國民齊シク恐悅至極ニ存ズル所デアリマス。陛下ニ
於カセラレマシテハ事變勃發以來日夜軍國ノ機務ニ大御心
ヲ注ガセラレ或ハ海外ニ在ル出征將兵ノ勞苦ヲ偲バセ給ヒ
或ハ銃後ニ於ケル國民生活ノ安否ヲ御軫念アラセラレ常ニ
至仁ノ御恩召ヲ垂レサセ給フ御模様ヲ拜シ奉リ唯々恐懼感
激ニ堪ヘナイ所デアリマス。地方長官トシテ格別ノ重責ヲ
擔ハルル各位ハ深く大御心ヲ奉體シテ廣大無邊ナル聖恩ノ
光被ニ身命ヲ捧ゲテ其ノ職司ニ萬全ヲ期セネバナラスト存
ジマス。

今ヤ支那事變勃發以來既ニ二年有餘ヲ閱ミシ外ニハ忠勇
ナル將兵ガ幾多ノ困苦艱難ニ耐ヘテ力戰奮闘ヲ續ケ、内ニ
ハ銃後ノ國民ガ克ク其ノ本分ヲ守リテ奉公ノ赤誠ヲ致シ舉

國一致東亞新秩序建設ノ巨歩ヲ進メツツアリマスコトハ寔ニ感激ニ堪ヘナイ所デアリマス。然シ乍ラ諸般ノ情勢ヲ綜合シテ考察致シマスレバ、コノ建設ノ大業ニハ前途尙多大ノ困難ヲ横ハリ、殊ニ歐洲動亂ノ勃發ハ愈々複雑微妙ナル影響ヲ齎シツツアルノデアリマシテ、我國ノ前途ハ未ダ決シテ樂觀ヲ許サザルモノガアルノデアリマス。曩ニ政府ハ歐洲ノ戦局ニ關シ之ニ介入セザル旨ヲ宣明スルト共ニ屢次中外ニ聲明セル如ク飽ク迄既定方針ニ則リ専ラ支那事變ノ徹底的解決ニ邁進スベキコトヲ表明致シマシタ。即チ我國當面ノ要務ハ國際關係ノ推移ニ右顧左眄スルコトナク確固不動ノ信念ヲ堅持シテ軍事ニ、外交ニ、内務ニ、渾然國力ヲ集中統合シ、コノ帝國ノ歴史の使命ノ達成ニ邁進スルニ在リト信ジタカラデアリマス。内政ノ第一線ニ立タレル各位ハ深く思ヒヲコノ國家的目的ニ致サレ、民心ノ指導ト諸政策ノ遂行トニ精勵セラレ度イノデアリマスガ、私ハコノ點ニ關聯シ特ニ二三ノ事項ヲ強調シテ各位ノ格段ノ努力ヲ切望スル次第デアリマス。

事變ノ長期化ト内外情勢ノ複雑化トハ我國ノ政治、經濟思想等ノ各局面ニ互リ、愈々廣汎深刻ナル各種ノ影響ヲ及ボシツツアルノデアリマス。此ノ時ニ當リ支那事變處理ノ國策完遂ニ向ツテ國家ノ總力ヲ統合シ、戰時態勢ヲ強化スルハ喫緊ノ要務デアリマシテ、之ガ爲ニハ國內治安ノ萬全ヲ期スルノ要愈々緊切ヲ加ヘツツアリマス。此ノ重大時局ニ際シ我が對外及對内國策ニ關スル論議乃至運動ガ健實ナル方向ヲ辿ルコトハ寔ニ必要ナコトデアリマスガ、今後事態ノ推移如何ニ依ツテハ不穩矯激ナル言動ニ出デ國策ノ遂行ニ不測ノ障害ヲ及ボスノ虞アルモノ無キヲ保シ難イノデアリマス。此ノ間左翼分子ハ今尙執拗ナル策動ヲ反覆シツツアリマシテ、今後如何ナル間隙ニ乘ジテ擡頭シ來ルヤモ計リ難イ實狀デアリマス。更ニ政府ハ現下ノ事態ニ即應シテ戰時經濟態勢ヲ整備スル爲各般ノ統制ヲ一層強化スルコトトナツタノデアリマス。之ガ圓滑ナル實施ヲ期スルガ爲ニハ國民ノ協力ニ俟ツ所尠シトシナイノデアリマスガ、今後或ハ流言浮説ヲ爲シテ經濟的、社會的不安ヲ醸成スル者

或ハ統制ノ法網ヲ濶リテ不正ヲ敢テスル者等必ズシモ之無シト斷ジ難イノデアリマス。各位ハ常ニ時局ヲ推移、民心ノ動向ニ周到ナル注意ヲ拂ヒ、事端ヲ未然ニ防止スル爲ニハ遲滞ナク適切ナル措置ヲ講ジ苟モ非違ノ存スル所ニ對シテハ斷乎タル態度ヲ以テ之ニ臨ミ、克ク銃後治安ノ完璧ヲ期セラレタイノデアリマス。

長期戰ニ處シテ克ク終局ノ勝利ヲ收ムルハ銃後國民生活ノ安定ヲ確保スルニアリト存ジマス。從テ各位ハ常ニ管下民生ノ生活ノ實情ヲ洞察シ苟モ之ヲ脅威スル障礙ノ除去ニ當ツテハ機宜ニ適スル措置ヲ謬ルコトナク、殊ニ異域ニ奮戰スル出征軍人ノ家族、護國ノ英靈ト化サレタ戰歿軍人ノ遺族又ハ戰傷ノ爲不具廢疾トシテ餘生ヲ送ルベキ將兵勇士ノ生活ノ安定ニ付テハ毫モ遺憾ナキヲ期セテケレバナリマセヌ。又經濟統制諸法令實施ノ結果轉業ノ止ムナキニ至リタル者ニ對シテハ銳意之ガ匡救ノ方策ヲ講ズルト共ニ殷賑産業關係者ニ對シテハ特ニ自肅攝制ヲ要望シ國民各層齊シク生活ノ刷新ヲ斷行シテ困苦缺乏ニ堪ヘ時艱克服ニ邁進ス

ルノ精神力ヲ練成スルヤウ之ガ輔導ニ努メラレタイノデアリマス。尙一面現下ノ時局ニ於テ最モ切實ナル問題タル物價騰貴ノ抑制ト物資ノ消費節約トニ一層ノ效果ヲ舉グルコトニ工夫ヲ重ネラルルト共ニ生産ノ増加、配給ノ統制ニ萬全ノ方途ヲ講ジ以テ戰時經濟ヲ維持ト國民生活ノ確立ノ爲格段ノ配意アランコトヲ切望致シマス。

政府ハ現下ニ於ケル戰爭並建設ノ二方面ノ必要ニ即應スル爲各般ノ總動員體制ノ整備強化ニ努メツツアルノデアリマスガ、眞ニ舉國一體ノ實ヲ舉ゲ總動員業務ノ遂行ヲ圖ルガ爲ニハ特ニ充分ナル官民一致ノ態勢ヲ確立スルコトガ刻下喫緊ノ要務デアルト思ヒマス。即チ官民共ニ時局下ニ於ケル各自ノ使命ヲ深く自覺シテ協心戮力事變處理ノ目的ノ爲ニ勇往邁進スベキコトハ論ヲ俟タヌノデアリマス。然ルニ現下ノ實情ヲ檢討致シマストキハ官民上下一致ノ實ハ必ずシモ完全ナリトハ認め得ナイノデアリマシテ、往々ニシテ官吏ハ國民ノ時局認識ノ足ラザルヲ責メ國民ハ官吏ノ態度ノ無理解ナルヲ難ズルモノガアリ、殊ニ國策遂行ノ衝ニ

當ル官吏中時ニ獨善的行動ヲ爲ス者アルガ爲國民ノ積極的協力ヲ阻ミ官廳相互間ノ意見ノ不一致ガ國內ニ於ケル對立ノ因子ヲ爲スコト絶無トハ言ヒ難イノデアリマス。官吏ノ權限ハ今後益々廣汎トナリ職權ノ行使ハ直接ニ國民ノ利害ニ重大ノ關係ヲ有スルモノデアリマスカラ、官吏ハ深クココニ自省シテ自己ノ業績ニ對スル他人ノ批判ハ常ニ謙虛ノ態度ヲ以テ之ヲ聽キ、苟モ過誤ヲ知りタルトキハ速ニ之ヲ改メ、假ニモ非違ヲ強行スルガ如キコトナキヲ期スルト共ニ、官廳間ニ於ケル忌ハシキ權限爭ヒノ如キモ大局ニ立脚シテ能ク互讓自制シ、苟モ國民ノ福祉ヲ毀損シ國策ノ運行ヲ妨グルガ如キコトハ嚴ニ自ラ戒慎スル所ガ無クテハナリマセン。而シテ國民ニ對シテハ生活ノ各部門ニ互ル強力ナル統制ガ時局收拾ノ爲眞ニ已ムヲ得ザルモノナルコトヲ懇切ニ說示シ、情理ヲ盡シテ理解ヲ得ルコトニ努ムルト共ニ透徹セル見識ト周到ナル用意トヲ以テ産業經濟界ノ動向ヲ察知シ、個々ノ抑制取締ガ常ニ必要ノ限度ヲ逸脱セザルコトニ細心ノ留意ヲ拂フトキハ國民モ亦必ズヤ釋然トシテ官

吏ニ協力スルノ氣風ヲ興スニ至ルベク、又濶然トシテ困苦缺乏ニ堪フルノ覺悟ヲ新ニスルニ至ルコトヲ確信シテ疑ヒマセン。凡ソ國民ノ理解ト協力トヲ贏チ得ナイ政治ハ徒ラニ無用ノ摩擦ト破綻トヲ生ジ却ツテ行政ノ運行ヲ阻害スルコト必至デアリマス。統制ノ機務ニ參畫スル官吏ハ國家ノ要求ノ限度ヲ明確ニ認識シテ之ガ實現ヲ期スルト共ニ國民ヲシテ統制ニ恪遵シツツ而モ猶明朗ナル氣宇ヲ以テ業務ニ精進シ、國策ノ完遂ニ寄與スル所アラシメネバナラヌト信ズルノデアリマス。

以上ハ當面ノ要務ノ一端ニ付所信ヲ述ベタノデアリマシガ、各位ハ深ク其ノ重責ニ鑑ミテ事變處理ノ目的達成ノ爲益々堅忍持久ノ風潮ト國民精神ノ昂揚トニ努メ國民ヲ總動員シテ時艱ノ克服ニ邁進シ帝國ノ隆昌ト國民ノ福祉トノ爲最善ノ努力ヲ傾倒セラレンコトヲ切望スル次第デアリマス

令旨奉體結核豫防國民運動

(昭和十四年九月二十八日
次官會議決定)

興亞聖業の進展と相俟ち人的資源の重要視せらるるの秋曩に畏くも 皇后陛下に於せられては結核の豫防並に治療に關し優渥なる 令旨を賜はる、洵に恐懼感激に堪へざる次第に有之茲に國民精神總動員委員會に於ては令旨を奉體し「勤勞の増進、體力の向上に關する基本方策」を決定せる處來十一月十四日を期して結核豫防國民運動を展開することとなり其の方法左の如し、

令旨奉體結核豫防國民運動實施要項

一、趣旨

畏クモ皇后陛下ニ於セラレテハ去ル四月二十八日内閣總理大臣ヲ召サセラレ結核ノ豫防並ニ治療ニ關シ優渥ナル令旨ヲ賜フ洵ニ恐懼感激ニ堪ヘサルナリ茲ニ令旨ヲ奉體シ曩ニ國民精神總動員委員會ニ於テ決定シタル「勤勞ノ増進、體力ノ向上ニ關スル基本方策」ニ基キ來ル十一月十四日ヲ期シテ結核豫防國民運動ヲ開始シ輿論ノ喚起ヲ促スト共ニ豫防生活ノ實踐ヲ圖リ興亞大業成就ノ一助ヲラシメ以テ御懿旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期ス

二、實施要項

- (一) 令旨御趣旨ノ徹底
- (二) 結核豫防ニ關スル啓蒙
- (三) 結核豫防生活ノ實踐
- 1 優康診斷ノ勵行
- 2 環境ノ改善
- 3 規則正シキ生活ノ勵行
- 4 榮養ノ改善
- 5 適正ナル心身ノ鍛鍊
- 6 療養生活ノ改善
- 7 其ノ他

三、實施方法

左ノ如ク重點主義ニヨリ夫々ノ環境ニ應ジ結核豫防ノ徹底ヲ計ルコト

(一) 都市ニ於ケル結核豫防

例示 官公署、銀行、會社、商店等ニ於ケル勤勞生活者ノ健康診斷、貸家貸間ノ消毒、街路喀痰禁止、戶

外生活ノ獎勵等

(二) 農村ニ於ケル結核豫防

例示 萬年床ノ廢止、採光換氣ノ改善、窓開ケ運動、

蔭樹伐採、歸郷者健康診斷、榮養食品ノ配給貯藏、

榮養蔬菜類ノ栽培等

(三) 工場ニ於ケル結核豫防

例示 健康診斷、休養、寄宿生活ノ改善、共同炊事ノ

改善、保健施設ノ改善等

(四) 學校ニ於ケル結核豫防

例示 健康診斷、結核豫防教育、虛弱兒童ノ養護特ニ

家庭トノ聯絡、心身鍛鍊、寄宿生活ノ改善等

(五) 家庭ニ於ケル結核豫防

例示 被服寢具ノ日光消毒、規則正シキ生活、榮養ノ

改善、主婦ノ豫防知識涵養、幼兒ノ感染及發病ノ防

止、患家ニ於ケル家族感染ノ防止等

右實施ニ當リ十一月十四日ハ都市ニ十五日ハ農村ニ、十

六日ハ工場ニ、十七日ハ學校ニ、十八日ハ特ニ家庭ニ夫々

主力ヲ注グコト

四、實施上ノ注意事項

(一) 本國民運動實施ニ際シテハ結核豫防ニ關スル國民的關心ヲ喚起シ豫防知識ノ普及ヲ圖リ以テ爾後之ガ日常生活ニ於ケル實踐ヲ日途トスベキコト

(二) 本國民運動ヲ機會ニ既存ノ諸團體就中衛生關係機關ヲ活用シテソノ聯繫ノ強化ヲ計リ相一致シテ本運動ノ徹底ヲ期スルコト

◎山口縣下松に市制施行

内務省では山口縣都濃郡下松町、久保村、末武南村及び花岡村を廢し、其の區域を以て下松市を置くこととなり十三日附官報を以て、來る十一月三日市制施行の旨左の通り告示さる。

内務省告示等四百八十九號

市制第三條及町村制第三條ニ依リ昭和十四年十一月三日ヨリ山口縣都濃郡下松町、久保村、末武南村及花岡村ヲ廢

シ其ノ區域ヲ以テ下松市ヲ置ク

昭和十四年十月三日 内務大臣 小原 直

◎國道新改築工事の終了

内務省告示第四百九十一號

道路法第二十條第二項ノ規定ニ依リ本大臣ニ於テ新設又ハ改築ヲ爲シタル國道ニシテ工事ノ終了シタルノモノ左ノ如シ

昭和十四年十月十四日 内務大臣 小原 直

路線名 區 間 工事終了ノ期日

一號 自三重縣河藝郡栗真村 至同縣津市上濱町 昭和十四年十月十四日

◎内務省告示第五百八號

市制第三條及町村制第三條ニ依リ昭和十四年十一月三日

ヨリ千葉縣安房郡館山北條町、那古町、及船形町ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ館山市ヲ置ク

昭和十四年十月二十六日 内務大臣 小原 直

内務省特報

秋季漫吟(二)

野 狐 禪

新涼や活けていみじき花の屑
 野萩折つて馬道ふ頃の晴れてけり
 宵闇の灯明かき窓や蜻蛉來る
 煤ける天井低し菌汁
 霧巻いて木耳探りに逢ひにけり
 夜學子の眼に生きつ二宮金次郎
 新涼や葉洩れ陽踏んで松並木
 飛機の影見まもり晴るゝ花野かな
 馬肥ゆや病を知らぬ低能兒
 菜ツ葉服脱いでいどみぬ草相摸
 芋掘りの輕き疲れを草の上
 秋天に軍旅を解ける裾野かな
 賢者ぶるや秋風の譜を暗んじて
 鎌の先にかゝる鬮籠や秋の風
 難波船遙かに見えて秋の海